



Title	詞林 第24号 編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	詞林. 1998, 24
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67424
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

▽詞林二十四号をお届けいたします。本号は中古に関する論考二編、中世に関する論考一編と近世に関する論考一編という構成となりました。このうち、「とはずがたり」の論を寄稿いただきました赤木氏は今回がはじめての執筆となります。また、本居宣長の論を寄稿いただきましたメリ氏は英文論文となりました。

▽少し前のことになりましたが、本研究会宛にパリ大学の方から手紙が届きました。「松浦宮物語」を研究しており、フランスには本誌が蔵されないので論文執筆の参考のために本誌を寄贈してほしいとの内容でした。本研究会にとりましては喜ばしいかぎりですが、視点、方法、ともすれば著述目的すら異なる西欧の文学・文芸研究者にとって私たちの小論がどのように理解され、また、評価されるのか？考えたことも無い局面に接し期待と不安を覚えました。無理に他の方法に倣うことが無益であろうことは承知していますが、共に日本文学の読解を試みながらも、接点の見出せないというの寂しいものです。国際化の波の中で、これが我々のやり方というのではなく、互いの歩み寄りが求められてくるものと思えます。

▽本号にも、皆様方の忌憚のない御指導・御批正を賜りますれば幸甚に存じます。

(海野)

詞林 第二十四号 定価八百円(本体七六二円)

一九九八年十月一日 印刷

一九九八年十月一日 発行

編集兼発行者

大阪大学古代中世文学研究会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学文学部国文学研究室内

代表者 伊井 春樹

電話 (〇六) 八五〇―五一一

FAX (〇六) 八五〇―五一一

振替 〇〇九七〇―一―三二〇三六五

印刷 日本電植株式会社

発売 和泉書院

〒543-0002 大阪市天王寺区上汐五―三―八

電話 (〇六) 七七一一―四六七

FAX (〇六) 七七一一―五〇八

振替 〇〇九七〇―一―一五〇四三